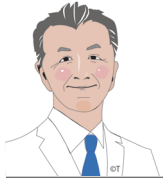


新小山市民病院だより

2025年12月1日号



病院長挨拶

1次予防(病気の発症を防ぐこと)が大切!

----- 理事長・病院長 佐田 尚宏 -----

とても暑い夏が終わり、季節は短い秋から冬を迎えようとしています。冬場に増える病気の中でも、特に注意が必要なのが「脳卒中」と「心疾患」です。日本人の死因を疾患別に見ると、1981年以降は「がん(悪性新生物)」が第1位を占めており、現在では第2位が「心疾患」、第4位が「脳血管疾患(脳卒中)」となっています。がんについては、2006年に「がん対策基本法」が成立し、それに基づく「がん対策推進基本計画」が現在までに4期策定され、診療ガイドラインの整備や全国がん登録の充実により、がん診療の質の均一化や予後の改善が着実に進んできました。

こうした成果を受けて、脳卒中や心疾患に対しても効果的な対策を進めるため、2018年には「脳卒中・循環器病対策基本法」が制定されました。現在、各都道府県では「脳卒中・心臓病等総合支援センター」が設置され、2022年からは予防活動が本格的に展開されています。

病気の予防には、1次予防(病気の発症を防ぐこと)、2次予防(早期発見・早期治療を行うこと)、3次予防(病気からの社会復帰を支援すること)の3段階がありますが、やはり1次予防が最も大切です。栃木県では、以前から脳卒中・心疾患による死亡数が全国平均よりも多いという課題があり、今後も高齢化の進行に伴って発症数の増加が予測されています。これらの病気を予防するためには、まず「血圧のコントロール」が重要です。加えて、適度な運動、十分な休息、バランスのとれた食生活など、日々の生活習慣を見直すことが効果的です。

今回も最後のメッセージとして、「病気にならない」ために、ご自身の健康、ウェルビーイングについて、日々の生活の中で少し立ち止まって考える時間を持つことをお勧めします。



ウェルビーイング(Well-being)とは

ウェルビーイングとは、well(よい)とbeing(状態)からなる言葉で、精神・肉体の健康と社会的な健康を意味する概念のことです。



理念

皆様から信頼され必要とされる地域密着型の急性期中核病院を確立する

基本方針

1. 根拠に基づく安全で質の高いチーム医療を行います
2. 患者及び家族の皆様が、納得し満足できるように寄り添って支援します
3. 職員同士が自発的、主体的に対話し協働する関係性を作っていきます
4. 地域との連携を深め、地域の中核病院としての責務を果たします
5. 全ての職員が心身ともに健康に生き生きと働ける職場を作ります
6. 健全経営を維持し、経営基盤の強化を図ります



目次

1. 病院長挨拶
2. 新任医師紹介
3. 年末年始診療案内
4. お知らせ

新任医師紹介（10 月入職）（氏名、診療科、ひとこと）

おお た がく
太田 学

外科副部長

外科の中でも、特に大腸肛門病や腹腔鏡手術を中心に診療してきました。地域の皆様のお役にたてるように、心を込めて診療いたします。

よし なり ひろ き
吉成 裕紀

小児科副部長

患者さん、ご家族とのコミュニケーションを大切に、診療に努めます。子どもたちの将来のために頑張ります。よろしくお願いします。



まつ ざき さくら こ
松崎 桜子

糖尿病・代謝内科

日々の生活に寄り添った糖尿病・内分泌診療を心がけます。心配な事がございましたら、いつでもご相談ください。よろしくお願いします。

わた なべ ひかる
渡邊 輝

脳神経内科

丁寧で分かりやすい診療を心がけます。お困りのことがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。よろしくお願いします。

別館建設事業着手！②



令和 6 年 12 月に別館建設事業着手！①を発行させていただきました。今回は事業の経過報告及び工事の予定をお知らせします。

令和 7 年 4 月、建物新築工事設計・施工業務の基本協定を締結し、基本設計を経て、現在は実施設計業務を遂行しております。令和 8 年 2 月中旬の工事着手を目標とし、病院を円滑運営しながら安全に遂行する為の工事計画を進めております。

日頃から皆様にご不便をおかけしている患者駐車場ですが、本事業で駐車場走行通路の一方通行化を図ります。大きな路面標示を施し、分かりやすく利便性の高い駐車場への変更を検討しています。

また、工事期間中（令和 8 年 2 月初旬～令和 8 年 12 月下旬予定）は患者第二駐車場が全て工事エリアとなります。患者第一駐車場が満車の際は、病院東側の公園駐車場等をご利用ください。

工事期間中は患者の皆様にご迷惑をおかけしますが、安全第一で進めてまいりますのでご理解ご協力をお願い申し上げます。



年末年始の診療体制のご案内

年末年始の診療体制は、下記の通りです。



令和 7 年 12 月 26 日（金） 通常診療

令和 7 年 12 月 27 日（土）～ 令和 8 年 1 月 4 日（日） 休診

令和 8 年 1 月 5 日（月） 通常診療

急患の方の対応について

休診期間中も急患の方の対応は可能ですが、以下の点に注意が必要です。

【重要】救急外来を受診する際は、必ず事前に休日夜間受付まで電話で、診療が可能かどうかを確認してください。

休日夜間受付電話番号：0285-36-0290

<その他の注意点>

救急車等の受け入れ状況や患者さんの症状によっては、他の医療機関へ案内される場合があります。

緊急性の低い（軽症の）受診の場合、保険診療とは別に「選定療養費」を自費で徴収されます。

（これは、保険外併用療養費の制度に基づき徴収が認められている料金です。）

初期救急（軽症）の場合

かぜによる高熱や、家庭では処置できない切り傷といった初期救急（比較的軽症）の場合は、

夜間休日急患診療所：0285-39-8880 もしくは 在宅当番医 にお問い合わせください。

診療時間等については、広報おやま、小山市や小山地区医師会のホームページよりご確認いただけます。

ご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

―― 第 12 回 新小山市民病院ふれあい祭り を開催しました ――

10月19日（日）、「第12回 新小山市民病院ふれあい祭り」を開催し、多くの市民の皆様にご来場いただきました。今回のテーマは「医療のチカラ、地域のチカラ ～ともに歩む小山の未来～」。

病院長による「がん」についての講演や、感染予防を楽しく学ぶクイズ形式の講演など、健康づくりに役立つプログラムが行われました。ほかにも屋内では、内視鏡体験・白衣体験・調剤体験・車いす体験など、子どもから大人まで楽しめる体験コーナーが多数開催され、終日賑わいを見せました。

また、音楽やダンスの発表などを通じて、地域の皆様と職員が交流を深め、笑顔あふれる一日となりました。ご来場いただいた皆様、また運営にご協力くださった地域団体や関係機関の皆様に心より感謝申し上げます。



いつも行列! 大人気の調剤体験!!



ふうにゃむむにゃと写真撮影☆シ



ふうにゃむむにゃと院長先生
仲良しになれました♡



オープニングセレモニー
沢山の方にご来場いただきました。



色々な形の風船を作ってプレゼントしました★



屋外のブースも絶えず賑わっていました!



楽しい時間をありがとうございました!

病院からのお知らせ



後悔のない看取りのために ～ 本人と家族ができること ～

ACPとは「アドバンス・ケア・プランニング(Advance Care Planning)」の略で、「人生会議」ともよばれています。将来、病気や事故などでご自分の意思を伝えられなくなった場合に備えて、どのような医療やケアを望むかを事前に考え、信頼できる方々(家族や医療・介護従事者など)と話し合っ共有する取り組みです。命の危機に直面したとき、約70%の人が自分の希望を伝えられなくなるとされており、事前の話し合いが本人の意思を尊重した医療・ケアの実現に役立ちます。

とりわけ、救急医療においてもACPが必要とされます。その理由は、患者さんの意思を尊重し、望まない医療行為を避けるためです。救急時は極めて時間が限られており、また、ご家族も動揺しているため、事前にACPがあることで、医療者と家族の意思決定がスムーズになります。

ACPは「もしもの時」に備えるだけでなく、「その時」に最善の選択をするための準備でもありますので、この言葉を知って下さると幸いです。

病院機能評価の認定を更新しました!

当院は、令和7年5月に公益財団法人日本医療機能評価機構による審査を受け、令和7年10月2日付で「病院機能評価一般病院2(3rdG: Ver.3.0)」の認定を更新しました。

この評価は、医療の質と安全を保つために全国の病院を第三者の立場で審査する制度です。

審査では、患者さん中心の医療の推進や良質な医療の実践、地域医療との連携、組織運営など、病院全体の取り組みが確認されました。

これからも地域の皆様に信頼され、必要とされる病院であり続けるために、職員一同、安全で質の高い医療を提供してまいります。



院内防災訓練

(災害対策本部実動訓練)を実施!



9月13日に、幹部職員を対象とした災害対策本部実動訓練を行いました。この訓練は、災害が発生した際に迅速かつ的確な対応を行うため、幹部職員やDMAT隊員が災害対策本部を設置・運営する訓練です。実際の災害を想定し、関係者が本部に集まり、情報収集、現状分析、課題確認、意思決定、指示伝達などの一連の対応を実際に行うことで、本部体制の確認や課題の洗い出しを目的としています。

この訓練においては、小山市の災害医療当局との合同訓練を兼ね、災害時においても、小山市の保健医療活動と、当院の災害拠点病院としての活動が切れ目なく連携していけるよう、訓練を行いました。



災害時は、病院機能の維持、多数傷病者の受入れ、職員の安全確保など、多岐にわたる対応力が求められます。

当院は、このような訓練を通して、地域の皆様の最後の砦となるべく練習を重ねておりますので、益々ご期待ください。

糖尿病教室開催のお知らせ!

～糖尿病について一緒に学んでみませんか～



「糖尿病とは」／糖尿病・代謝内科 松崎 桜子 先生
「筋肉を守って血糖を守る!～サルコペニアと糖尿病～」
／糖尿病・代謝内科 部長 出口 亜希子 先生
「糖尿病とケアについて」／看護部
「糖尿病に関する検査について」／臨床検査部門
「糖尿病の運動療法」／リハビリテーション部門
「糖尿病の薬の話」／薬剤部門
「糖尿病の食事療法」／栄養管理部門

日 時 令和8年3月8日(日) 9時30分～12時
(9時より受付開始)

会 場 新小山市市民病院 2階 さくらホール

参加費 無料

定 員 50名(先着順)

※軽い運動を予定しています。動きやすい服装でご参加ください。

受付期間 令和8年3月4日(水)まで

直接総合案内、またはお電話でお申込みください。

電話番号 0285-36-0282(総務課)

受付時間 月～金 / 8時30分～17時



職員採用のお知らせ

・看護師

2025 年度第4回採用試験

(採用日: 2026年4月1日)

試 験 日: 2月26日(木)

応募期間: 12月1日(月)～2月12日(木)

・医師・その他職種

※詳細はホームページ(職員採用サイト)をご覧ください。ご応募お待ちしております。

お問い合わせ先 人事課 ☎ 36-0285



地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市大字神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

URL <https://tochigi.hospital-shinoyama.jp/>

職員採用サイト <https://recruit.soch.jp/#works>

